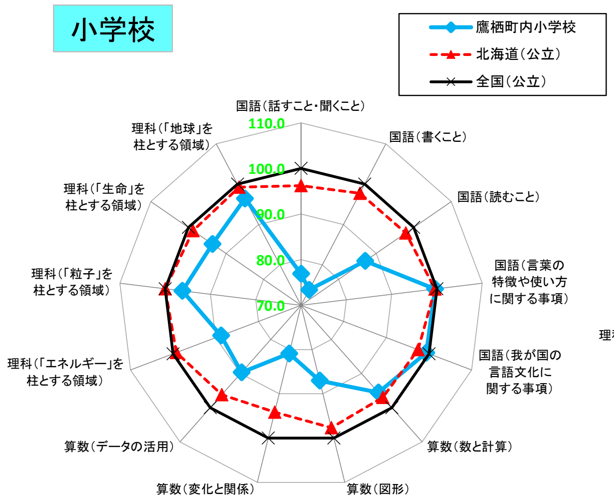
■鷹栖町内の状況及び学力向上策　（小学校数:2校 、児童数:53人）（中学校数:1校 、生徒数:78人）

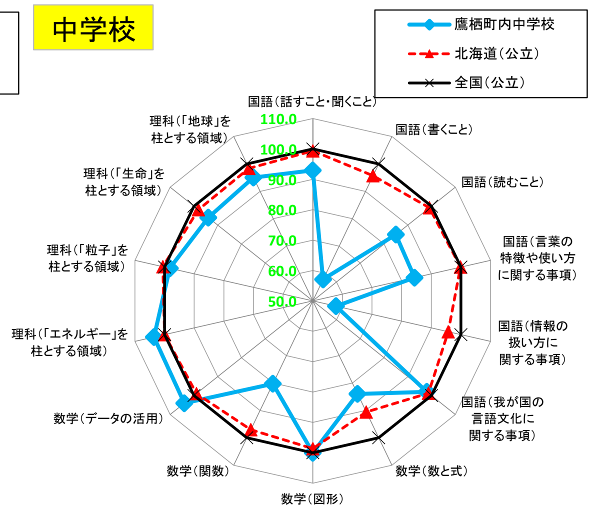
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

小学校

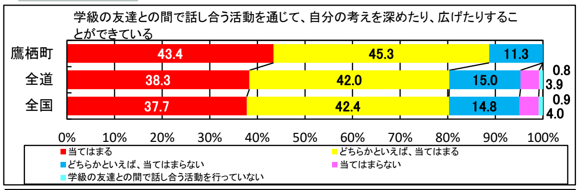


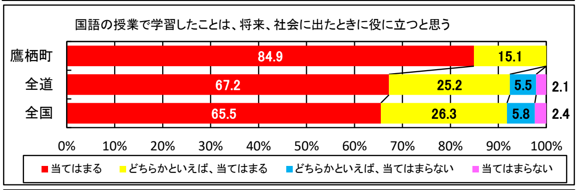
中学校

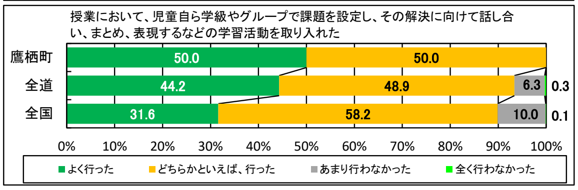


【質問紙の状況】

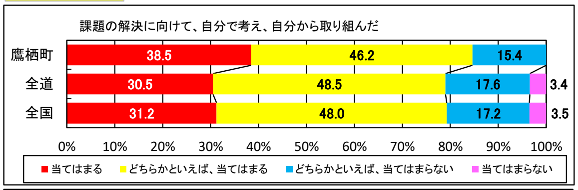
小学校

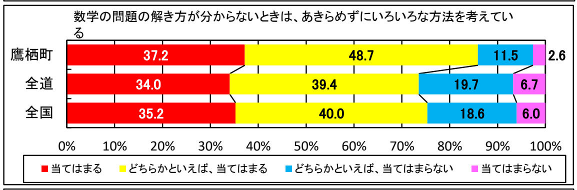


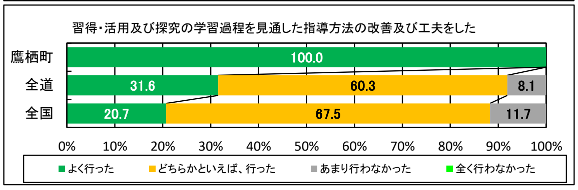




中学校







【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする指導の充実を図ったことにより、児童は国語を学習することの重要性や有用性を理解し、知識・技能の「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」において、全国の平均正答率と同等となったと考えられる。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたことにより、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている児童が全国の割合を上回ったと考えられる。

中学校

授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができるよう指導の充実を図ったことにより、生徒は数学の問題の解き方が分からないときにも、多様な方法を考えるようになり、「データの活用」領域で全国の平均正答率を上回ったと考えられる。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫を行ったことにより、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいる生徒が全国の割合を上回ったと考えられる。

【鷹栖町の学力向上策】

◎　学習指導要領の趣旨を踏まえた積極的・計画的な研修の実施
◎　放課後や休日等における学習機会の提供や習熟度別指導の充実、授業改善推進チーム活用事業を活かした指導改善
◎　英語教育の充実を図る小・中学校の連携（加配教員活用・ALTの増員）
◎　1人1台端末の活用に向けた研修の実施、学習支援ソフトや電子黒板を効果的に活用した学習活動の推進